



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社アスモ
代表者名 代表取締役社長 長井 尊
(コード:2654、東証スタンダード)
問合せ先 管理本部長代理 岩出 雄介
(TEL.03-6911-0550)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年11月9日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,100	百万円 430	百万円 470	百万円 300	円 銭 22.28
今回修正予想 (B)	20,500	600	630	370	27.48
増減額 (B-A)	400	170	160	70	—
増減率 (%)	2.0	39.5	34.0	23.3	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	19,723	333	386	204	15.18

2. 修正の理由

2023年11月に公表いたしました通期連結業績予想においては、社会経済活動の正常化に伴う需要の回復を限定的に見積もっておりましたが、当第3四半期会計期間において下記セグメントの業績が好調に推移いたしました。

アスモ介護サービス事業においては、入居者キャンペーン等の施策により主要顧客である高齢者施設の入居率の回復に伴う介護サービス利用者および自社運営施設の入居者数が想定を上回って順調に増加しており、売上高および利益が好調に推移いたしました。

アスモフードサービス事業においては、主要顧客である高齢者施設の施策により入居率が順調に増加したことで給食提供食数が増加し、売上高が想定を上回って好調に推移しております。また、不採

算施設の撤退と新規施設の受託による利益率の改善や、継続的に取り組んでいる売上単価の値上げや仕入先の見直しによる原価コントロールが利益の確保に繋がっております。

アスモトレーディング事業においては、国内社会経済活動の正常化に伴う消費活動の活性化やインバウンド需要の拡大により、外食を主とした食肉需要が増加し、売上高・利益共に想定を上回って推移いたしました。

上記3つのセグメントがグループ全体の業績を牽引しており、また、当社を取り巻く社会経済情勢が当面の間継続すると仮定した上で業績予想を改めて算定し、通期連結業績予想数値を修正するものであります。

(注)上記予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。